

JIS

鏡材

JIS R 3220 : 2011

(FGMAJ/JSA)

平成 23 年 11 月 21 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 窯業技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	篠崎 和夫	東京工業大学
(委員)	秋山 稔	社団法人日本建設業連合会 (清水建設株式会社)
	伊吹山 正浩	社団法人日本ファインセラミックス協会 (電気化学工業株式会社)
	鶴澤 孝夫	硝子繊維協会
	加藤 久樹	一般社団法人日本鉄鋼連盟 (JFE スチール株式会社)
	白木 浩司	炭素繊維協会 (東邦テナックス株式会社)
	調子 忠行	社団法人日本工業炉協会 (中外炉工業株式会社)
	長岡 勉	一般社団法人電子情報技術産業協会
	仲村 誠	耐火物技術協会 (黒崎播磨株式会社)
	福地 英俊	板硝子協会 (日本板硝子株式会社)
	町田 隆志	株式会社日立製作所
	山内 幸彦	独立行政法人産業技術総合研究所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 61.3.1 改正：平成 23.11.21

官 報 公 示：平成 23.11.21

原 案 作 成 者：板硝子協会

(〒108-0074 東京都港区高輪 1-3-13 NBF 高輪ビル TEL 03-6450-3926)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：窯業技術専門委員会 (委員長 篠崎 和夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類	5
5 品質	5
5.1 反射率	5
5.2 外観	5
5.3 反射像のゆがみ	6
5.4 耐久性	7
5.5 防護膜の密着性	7
6 形状及び寸法	7
6.1 形状	7
6.2 寸法	7
6.3 長さ及び幅の許容差	7
7 材料	7
7.1 板ガラス	7
7.2 銀膜	8
7.3 防護膜	8
8 試験方法	8
8.1 反射率	8
8.2 板ガラス, 銀膜, 防護膜及びエッジ	8
8.3 反射像のゆがみ	8
8.4 耐久性	8
8.5 防護膜の密着性	9
9 検査	9
10 包装	9
11 表示	10
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	11
解 説	16

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、板硝子協会 (FGMAJ) 及び財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS R 3220:1999** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

鏡材

Glass in building—Silvered, flat-glass mirror

序文

この規格は、2008年に第1版として発行された **ISO 25537** を基とし、技術的内容の一部を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、ガラス鏡の製作に用いられる鏡材（以下、鏡材という。）について規定する。ただし、屋外でのガラス工事の用途のものを除く。

この規格の鏡材は、腐食性雰囲気、高湿若しくは空中浮遊の腐食促進物、又はその両者が定常的に存在する雰囲気での使用を目的としたものではない。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 25537:2008, Glass in building—Silvered, flat-glass mirror (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1**に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7516 金属製直尺

JIS H 8502 めっきの耐食性試験方法

注記 対応国際規格：**ISO 9227**, Corrosion tests in artificial atmospheres—Salt spray tests (MOD)

JIS R 3106 板ガラス類の透過率・反射率・放射率・日射熱取得率の試験方法

注記 対応国際規格：**ISO 9050**, Glass in building—Determination of light transmittance, solar direct transmittance, total solar energy transmittance, ultraviolet transmittance and related glazing factors (MOD)

JIS R 3202 フロート板ガラス及び磨き板ガラス

JIS R 3208 熱線吸収板ガラス

JIS Z 1522 セロハン粘着テープ

JIS Z 8401 数値の丸め方